

平成30年6月15日 / 毎月1回15日発行

医師と医師会を結ぶ情報紙

都医 NEWS

Vol. 628

東京都受動喫煙防止条例(仮称)制定に向けて要望書提出	01
底流/地区医師会長連絡協議会報告	02
第8回東京在宅医療塾	
第141回日本医師会臨時代議員会 ほか	03
みどりの広場 ほか	04
ふれあいポスト ほか	05
都医からのお知らせ ほか	06
地区医師会長からの一言	08

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部75円



東京都・白山神社の紫陽花(文京あじさいまつり)

東京都受動喫煙防止条例(仮称)制定に向けて 都知事に要望書と賛同署名19万6458筆を提出



左から 東京都看護協会 渡邊千香子専務理事、東京都薬剤師会 明石貴雄副会長、石垣栄一会長、
東京都歯科医師会 湯澤伸好専務理事、山崎一男会長、東京都医師会 尾崎治夫会長、小池百合子東京都知事、
東京都看護協会 山元恵子会長、大橋純江常務理事、東京都医師会 平川博之副会長



東京都医師会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会の各会長をはじめとする役員が小池百合子都知事を訪問し、受動喫煙防止対策を強化する、実効性のある条例制定の実現を求める

要望書とそれまでに寄せられた署名19万6458筆を提出した。
東京都が公表した条例案の骨子は、従業員のいる飲食店を原則屋内禁煙にすることや、幼稚園や小中学校、高校では敷地内を禁煙にして屋外の喫煙場所の設置も認めないことなどが盛り込まれていることから、尾崎治夫東京都医師会長は「子どもや飲食店の従業員など『人』を守ることが着目した都の条例案を高く

評価しており、6月の都議会ですべてこのまま通じていただきたい」と強く要望した。
これに対し、小池知事は「都民の健康を守ることが重要であり、実効性のある条例にしたい」と述べた。
なお、賛同署名は、5月30日に終了するまでに全国から総数20万3965筆の署名が寄せられた。

東京都受動喫煙防止条例(仮称)制定に関する要望書

平成30年5月18日

東京都知事
小池 百合子 殿

東京都医師会会長 尾崎 治 夫
東京都歯科医師会会長 山崎 一 男
東京都薬剤師会会長 石垣 栄 一
東京都看護協会会長 山元 恵 子

平素は、東京都四師会が実施します各種事業に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、東京オリンピック・パラリンピックの開催については、国際オリンピック委員会 (IOC) より「たばこのないオリンピック」の実現が求められています。

喫煙及び受動喫煙が健康に悪影響を与えることは医学的・科学的に明らかにされ、近年のオリンピック・パラリンピックの開催都市では、望まない受動喫煙を防止するため屋内を全面禁煙にするなど、法律や条例で罰則を伴う対策を講じており、IOCが唱えるスモークフリーへの取り組みは世界の潮流となっています。

今般、開催都市である東京都から「東京都受動喫煙防止条例(仮称)骨子(案)」が示されました。本骨子(案)は、従業員がいる飲食店では店の規模にかかわらず原則禁煙にすることや、幼稚園や小中

学校、高校では敷地内を禁煙にして屋外の喫煙場所の設置も認めないことなど、働く人や子どもを受動喫煙から守る、人に着目した(案)であり、高く評価できるものであります。

私も東京都四師会は、都民の健康を守る専門家集団として、原則屋内全面禁煙をより徹底し、飲食店などの利用客と働く人たちを含む都民や訪都者を、受動喫煙から守る条例が必要不可欠であると考えます。

つきましては、このたび、例外規定や特例を設けることのない、東京都受動喫煙防止条例(仮称)の制定の実現を求める署名活動を、全国的に展開しております。

東京都においては、受動喫煙防止対策を強化する実効性のある条例の制定を実現していただきたく、ここに署名を添えて強く要望いたします。

賛同署名にご協力いただき ありがとうございました

東京都受動喫煙防止条例(仮称)の制定に関する署名活動において、5月30日までに全国から総数20万3965筆のご署名をいただきました。

ご協力いただきました皆様方のご厚情に、心より感謝申し上げます。

底流

地域包括ケアシステムと かかりつけ医機能強化

10年後には医師の数が35万人に達し、医師数としては充足すると言われるが、超高齢社会における地域包括ケアシステムの構築には、かかりつけ医機能を備えた医師の増員と機能強化が必須条件となる。

昭和36年の国民皆保険発足
当時は病院の数が少なかった
こともあり、医者といえは町
医者、すなわち地域の家庭医
やかかりつけ医のイメージが
強かった。当時の開業医は小
児から高齢者まで標榜科にと
らわれず幅広く患者を診察
し、往診も当たり前のよう
に行い、国民の9割近くは自宅
でかかりつけ医に看取られて
いた。その後、医学の進歩、
専門化が進み、国民皆保険に
よる医療へのフリーアクセス
が普及するに従い、専門医療
を行う病院志向が高まり、新
規開業する医師たちも自分の
専門とする医療を主業とする

その結果、
者が多くなった。その結果、
医療提供側と患者側双方にお
いて、地域のかかりつけ医機
能についての認識が薄れて
いったことは否めない。
日本医師会は、かかりつけ
医を中心とした地域医療提供
体制の構築を主要な課題と捉
え、地区医師会に対してそれ
ぞれの地域に相応しい地域包
括ケアシステムの構築を求め
ている。医療、介護、福祉の
包括的なサービス提供により
高齢者や障害者、またその家
族の生活を支援するという地
域包括ケアシステムの概念は
かなり前から存在していた
が、それが広く実践されてき
たわけではない。そこで、数
年前から地域の実情に応じて
弱者である高齢者や障害者
可能な限り住み慣れた地域
で、その有する能力に応じた
日常生活を営むことを可能に
するため、区市町村と地区医
師会が連携してそのシステム
作りを進めようとしている。
このシステムを実際に動かし
ていくのが地域のかかりつけ
医であり、その基本的な姿勢
を身につけた医師を増やし、
またその機能を強化すること
が医師会に課せられた使命で
ある。
疾患の治療はもとより、患
者の日常生活にまで目を配り
ながら多職種と連携すること
ができるかかりつけ医は、い
わば医療と介護の水先案内人
である。幅広い医学的知識の
修得を中核とすることにおい
ては、新専門医制度の総合診
療専門医と重なる部分が多い
が、優れた総合診療能力を発
揮するだけでかかりつけ医と
して地域の住民に評価される
わけではない。医療、介護、
福祉に関するさまざまな情報
の引き出し方を知っており、
広角的視野を持ち合わせたよ
ろず相談役として住民から信
頼される存在であり、医療機
関のスタッフも含めて相談し
やすい雰囲気を出し出すこと
が重要である。今後は、医学
教育や地域医療研修、さら
には新専門医制度においても医
学生や若手医師にかかりつけ
医機能について理解してもら
うことが、かかりつけ医機能
の強化や、病院医師と開業医
の役割分担や相互理解に役立
つことになるであろう。
(椿哲朗)

地区医師会長 連絡協議会報告

平成30年5月18日(金)

会に先立ち、急逝された須藤秀明定立区医師会長に哀悼の意を表し、黙祷を捧げた。

◎都医からの伝達事項

(1) 東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する要望書(署名)提出について
本日、東京都四師会(医師

会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会)の各会長が小池百合子都知事を訪問し、東京都受動喫煙防止条例(仮称)制定に関する要望書と19万6458筆の賛同署名を提出し、現在の「東京都受動喫煙防止条例(仮称)骨子(案)」に例外規定や特例を設けることのない条例の制定を要望した旨の報告があった。

また、小池知事が「都民の健康に係る専門家の皆さまのご意見を真摯に踏まえて、しっかりと実効性のある条例にしたい」と述べるテレビニュースの映像が披露された。

(2) 「長引くその咳」結核かも「7言語対応の結核教育用映像資料」等について

東京都では、外国出生者等が結核を正しく理解し、安心して検査や治療を受けられる

ようDVDを作成した。DVDは7言語(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、ミャンマー語)に対応しており、東京都のホームページに順次掲載される予定である。

また、区市町村や保健所公民館等に「長引く咳、本当に風邪ですか?」のリーフレットが配布されるほか、内科、呼吸器科、小児科、精神科、リウマチ科を標榜している病院や、呼吸器科、リウマチ科を標榜している診療所等には冊子「東京都潜在性結核感染症マネジメントガイド」が配布されている。動画やガイド等の活用をお願いする。

(3) 平成30年度第1回検案業務サポーター研修会について

6月28日(木)午後7時から三鷹産業プラザにおいて平成30年度第1回検案業務サ

ポーター研修会を開催する。対象は多摩地域の検案医および検案医の登録を希望する医師、検案業務に興味のある医師。会員への周知をお願いする。

また、区市町村と地区医師会が連携してそのシステム作りを進めようとしている。このシステムを実際に動かし

(4) 東京2020大会について

東京2020オリンピック競技大会は7月24日(金)から8月9日(日)までの17日間、33競技、339種目に1万1090名の選手が参加し、パラリンピック競技大会は8月25日(火)から9月6日(日)までの13日間、22競技、537種目に4400名の選手が参加して開催される。

▽選手村に総合診療所を設置、運営する
▽各会場において医務室(救護所)を運営する
▽前記施設の機能を超える治療・検査が必要な場合、大会指定病院に搬送する
▽各会場等に専用救急車を配備する
▽大会期間中、安全な公衆衛生環境を確保する

▽大会期間中、安全な公衆衛生環境を確保する
東京都医師会では各会場に設置する観客用医務室(救護所)の一部の運営を担当する予定である。

(5) 第9回東京在宅医療塾について

第一期東京在宅医療塾を昨年9月から毎月実施し、今回で最終回を迎えた。57名の申し込みがあり、原則として5

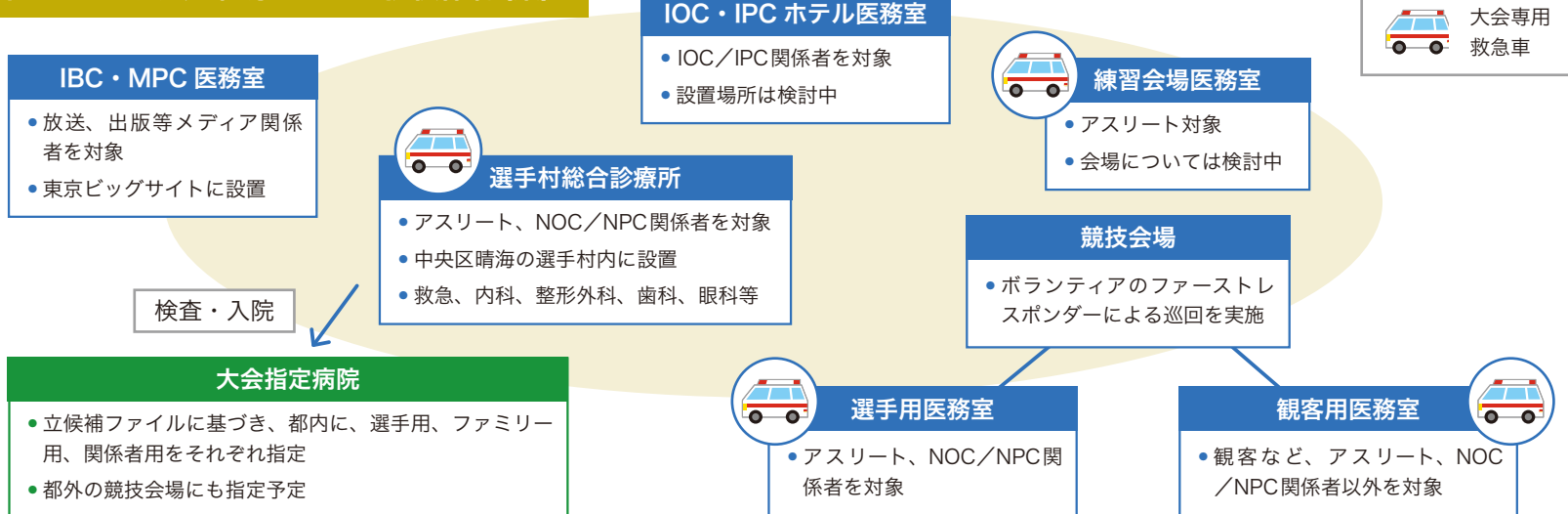
◎地区医師会からの報告

(1) 中央ブロック
(2) 城東ブロック
①看護師等(准看護師・助産師)復職支援事業の実施について (墨田区医師会)

(3) 城西ブロック
①第5回区民公開講座「太く強く長生きするには」 (玉川医師会)

(4) 城南ブロック
(5) 城北ブロック

東京2020大会の医療サービス提供体制(案)



◎出席者による意見交換
◎その他

第1期「東京在宅医療塾」

第8回生活期リハビリテーション

第1期「東京在宅医療塾」も第8回を迎え、残り1回となった。今回は望月諭日野のぞみクリニック理事長が進行を務め、在宅療養の妨げとなるフレイル進行や在宅介護負担増加を予防する在宅におけるリハビリテーションについての講演が4月14日(土)に東京都医師会館で行われた。

まず、「かかりつけ医と生活期リハビリリハビリ専門職の活用」の題目で、堀田富士子東京都リハビリテーション病院医療福祉連携室室長が講演し、受講者参加による身近な福祉機器の使い方、介助方法の実習が行われた。在宅医療で行われるリハビリの概略や現状について述べら



実習の様子

れ、かかりつけ医の指示の下で在宅医療対象者の状態に応じた適切なリハビリをする。ことにより、QOL向上・介助量軽減が期待されることが強調された。実習では受講者が5つのグループに分かれ、片麻痺がある想定で介護される側・する側に分かれ、起居動作や移乗動作の方法を東京

口腔リハビリテーション多摩クリニック院長が講演した。介護療養者の60%以上に摂食嚥下障害が認められる中、摂食嚥下リハビリテーションを適切に行うためには、摂食レベルと栄養状態を正しく評価し、摂食嚥下機能に合わせた摂取方法を選択することの大切さが説明された。講義中に示されたレントゲン・内視鏡による摂食嚥下の映像は非常にインパクトがあった。最後に、望月氏より平成30年度診療報酬改定に伴う在宅患者訪問診療料・在宅時医学総合管理料について説明があった。今回の参加者はやや少なめであったが、在宅医療におけるリハビリテーションはQOL向上・維持のために必要・不可欠であり、より多くの先生方に聞いていただきたい内容であった。なお、第2期「東京在宅医療塾」は9月から6回シリーズで開催する予定である。

第141回日本医師会臨時時代議員会



島崎代議員

第141回日本医師会臨時時代議員会が3月25日(日)に日本医師会館で開催された。横倉義武会長は挨拶の中で、6月の次期会長選挙に4選を目指して立候補する意向を表明した。

引き続き、平成30年度日本医師会事業計画および予算の報告後、財務委員長から財務委員会結果報告が行われた。議事に入り、第1号議案平成29年度日本医師会費減免申請の件が上程された。提案理由説明の後承認された。



猪口代議員

その後、各ブロックからの代表質問、個人質問および質疑応答が行われた。

東京ブロックからは、島崎美奈子代議員が代表質問「訪日外国人対応医療〜いま医師会に求められること〜」を行った。今後、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどが続き、訪日外国人数が急増していくことから、訪日外国人対応医療の整備について日医の見解を求めた。横倉会長は、外国人対応医療の課題として、①医療通訳を含めた言葉



角田代議員

また、猪口正孝代議員が「新専門医制度における領域的偏在」について個人質問を行った。羽鳥裕常任理事からは「新たな専門医制度における今回の専攻医登録結果は、大都市圏への集中に対して強い懸念があり、今後は実効ある対策

が必要と考える。今後示される医師の需要推計等を活用し、医師養成過程を通じた対応を検討していく」と回答があった。

続いて角田徹代議員が「受動喫煙対策、その先のたばこフリー社会を見据えた日医の姿勢」について個人質問を行った。道永麻里常任理事は「これまで一貫して例外規定や特例を設けることのない受動喫煙防止対策の強化・実現を訴えてきた。3月9日に閣議決定した健康増進法の一部改正法案は、受動喫煙防止の第一歩としては評価するが、例外規定が多く盛り込まれ満足できる内容ではない。都医では、都条例によって実効性のある受動喫煙防止対策を求める署名活動を行う予定と聞いており、東京都が先陣を切って他の自治体に影響を与える条例が制定されることを期待している」と述べた。

第2期「東京在宅医療塾」受講生募集

来たれ、在宅医療初心者！

これから在宅医療を始めたいと考えておられる先生方を対象に、下記のとおり第2期「東京在宅医療塾」を開講いたします。受講を希望される場合はご所属の地区医師会にお問い合わせください。

第2期「東京在宅医療塾」カリキュラム(案)

- 開催時間：平成30年9月～平成31年3月 毎月第2土曜15:00～17:30(全6回・12月休会)
- 開催場所：東京都医師会館5階会議室 ※敬省略

講義内容	講師
第1回 平成30年9月8日(土) 在宅医療はじめの一步	
①あす訪問にかけよう (30分)	望月 諭 (日野のぞみクリニック)
②在宅医療の診療報酬体系 (30分)	太田 雅也 (世田谷ホームケアクリニック)
③グループワーク(ワールドカフェ方式) (60分)	渡辺 象 (東京都医師会)
第2回 平成30年10月13日(土) 多職種連携とカテーテル管理	
①各種カテーテル管理:胃瘻/経鼻胃管/CVポート/バルーン/気管カニューレ等 (30分)	西田 伸一 (東京都医師会)
②多職種連携について (20分)	【調整中】
・褥瘡管理、ストマ管理 (20分)	
・訪問看護師との連携・ケアマネとの連携 (20分)	
③摂食嚥下機能支援 (40分)	【調整中】
第3回 平成30年11月10日(土) シミュレータを使った診察・検査の実習	
①講義 (30分)	迫村 泰成 (牛込台さこむら内科)
②シミュレータ実習:心臓/呼吸音/腹部エコー/嚥下内視鏡 (115分)	
第4回 平成31年1月12日(土) 終末期の在宅医療	
①終末期医療、在宅での看取りに必要な知識 (45分)	平原 佐斗司 (オレンジほっとクリニック)
②緩和医療 (45分)	鈴木 央 (鈴木内科医院)
③ACP(アドバンス・ケア・プランニング) (40分)	森久保 雅道 (東京都医師会)
第5回 平成31年2月9日(土) 神経難病・小児・認知症等精神科の在宅医療	
①神経難病の在宅医療(含人工呼吸管理) (45分)	荻野 美恵子 (国際医療福祉大学)
②小児在宅医療 (40分)	【調整中】
③認知症等精神科の在宅医療 (45分)	平川 博之 (東京都医師会)
第6回 平成31年3月9日(土) 生活期リハビリ・病診連携・ICTの活用	
①生活期リハビリテーション (45分)	堀田 富士子 (東京都リハビリテーション病院)
②入退院時連携について (45分)	英 裕雄 (新宿ヒロクリニック) 中村 哲生 (永生会)
③ICT:オンライン診療/SNS/東京総合医療ネットワーク (35分)	目々澤 肇 (東京都医師会)

*受講した講義に対して、日医生涯教育制度の単位・CCが付与され、全国医師会研修管理システム(生涯教育制度)に登録されます。
*内容については、変更の可能性があります。
*受講人数には、会場の都合上限りがあります。

地区医師会新会長紹介

- ①生年月日 ②最終卒業校 ③略歴 ④趣味 ⑤好きな言葉



小平市医師会長 **奥村 秀** (眼科) 65

- ①昭和27年9月16日
- ②日本大学
- ③小平市医師会理事、同副会長、北多摩医師会副会長、都医代議員
- ④ゴルフ、ジャズ
- ⑤人生楽しく、悔いのない人生

123
みどりの広場
子宮頸がん
HPVワクチン

東京産婦人科医会会長
東京都医師会理事
東京慈恵会医科大学客員教授

落合和彦



子宮頸がんは年間約1万人が罹患し、約2900人が死亡している。特に、20歳〜40歳の世代での罹患が増加しているのが近年の特徴といえる。子宮頸がんの多くはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因であり、その主な感染経路は性的接触とされている。このHPVはごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある一般女性の大半は生涯で一度はHPVの感染

機会があるとされているが、多くの場合は一過性の感染に終わり、病気を発症することはない。一方で、局所免疫の破綻などがある場合にはHPVが持続的に長く感染し続けることによって、子宮頸部の細胞内に変化を及ぼし、軽度異形成、中等度異形成、高度異形成・上皮内がんという前がん病変を経て、数年程度で子宮頸がんへと進展するときに

前がん病変として発見し、がんへの進展を防ぐ目的で行われる子宮頸がん検診(細胞診)は、2次予防として確立してはいるものの、頸がんや前がん病変を有する人が検診で陽性を示す割合(感度)は50%〜70%と十分に高いとは言えず、また一定の割合で検診では異常なし(偽陰性)と判定されてしまう場合もある。一方で、HPVの感染自体を予防して前がん病変・頸

がんを発生させないようにするのがHPVワクチンの1次予防としての考え方である。国内で承認されているHPVワクチンは2価と4価の2種類があるが、これらのHPVワクチンで頸がんの約7割を予防できるとされている。このように、ワクチンの接種と子宮頸がん検診の両方による予防(1次、2次)が「子宮頸がんにならない、なっても早期に治療できる」対策として、現在では最も効果的な方法と考えられている。

ワクチンはすでにHPVに感染している細胞からHPVを排除する効果は認められないことから、初めての性交渉を経験する前に接種すること

先進諸国の中で最低のレベルであると報告されている。平成29年11月の厚生労働省専門部会において、慢性疼痛や運動障害などHPVワクチン接種後に報告された「多様な症状」とHPVワクチンとの因果関係を示す根拠は報告されず、これらは機能性身体症状と考えられるとの見解が発表されたが、ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えは解除されていない。WHOは世界中の最新データを継続的に解析し、HPVワクチンは極めて安全であるとの結論を発表し、わが国での現状を「若い女性が本来予防しうるHPV関連のがんのリスクにさらされたままになっている」との警告を発している。

そして、駅の南側には井の頭恩賜公園がある。1917年(大正6年)に開園し、昨年5月で100周年を迎えた。昨年11月には天皇皇后両陛下が園内を散策され話題になった。

産婦人科医会では「将来多くの子宮を失った命を落としたりする知識と最新の情報が国民に広く普及することこそ、HPVワクチン接種の積極的勧奨の再開につながるのではと考え



幻想的に雪が積もった「かいぼり中」の井の頭池

住みたい街ランキングでお馴染みの吉祥寺だが、2018年は1位横浜、2位恵比寿、そして3位に吉祥寺と昨年のランキングからランクダウンした。それでも、上位に健在している。

チャーの発信源として古くから知られており、これを舞台にした人気漫画がドラマ化されたり、ジャズ喫茶、ライブハウスなどが多数点在し音楽の街としても名高い。駅の北口にハーモニカの吹き口のごとく小さなお店が数々並ぶ「ハモニカ横丁」がある。

公園の池は水質改善と生態回復のために、池の水を抜き干し、外来種駆除を行う作業「かいぼり」の効果もあって、水質も改善してきている。自然環境が見直され、身近に自然と触れ合える環境があるのはうれしいことだ。

吉祥寺は衣・食・住・遊がバランスよく充実し、幅広い層から支持を集めていることが人気の理由なのであろう。

吉祥寺
衣・食・住・遊そろった
人気の街

趣味の散歩

吉祥寺は衣・食・住・遊がバランスよく充実し、幅広い層から支持を集めていることが人気の理由なのであろう。

平成30年度 労災診療費算定基準・地方公務員災害補償制度
自賠責保険診療費算定基準の説明会

主催：東京都医師会／東京労働局
地方公務員災害補償基金東京都支部／日本損害保険協会南関東支部
損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター首都圏本部
東京労働保険医療協会

日時：7月13日(金) 13時30分〜16時10分(開場13時)

会場：なかのZERO 小ホール (中野区中野2-9-7)

対象者：医療機関の請求事務担当者

演題：「労災診療費算定基準について」(70分)
「地方公務員災害補償制度について」(40分)
「自賠責保険診療費算定基準について」(40分)

参加費：無料

参加方式：自由参加制

問合先 ▶ 東京都医師会 医療保険課 電話：03-3294-8821

医師国保からのお知らせ

医師国保では組合員の健康保持増進のための
様々な保健事業を設けています!

- 特定健診・特定保健指導の実施 (従業員や家族の自家健診が可能です!)
- 人間ドック受診結果(特定健診項目該当箇所)のデータ提供者への助成
- 乳房エコー検診費用の助成
- 脳血管健康診断費用の助成
- 契約保養施設の利用

詳しい内容、申請方法等は当組合ホームページをご覧ください
www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6431 (総務課)

知っていますか?

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセス。患者さんの意思は変化することもあるため、繰り返し話し合い、その都度、文書にまとめておくことが大切。まずは話し合いのきっかけをつくったり、話し合いのプロセスの場を提供することが重要となる。

心れあいポスト 各地区会報から

玉川医師会

板谷光慶

『陸王』ブームと『薄底』vs『厚底』

昨年の年末はテレビドラマの『陸王』が話題になり、ちょっとしたブームにもなったので皆様ご存じかと思われます。このドラマは経営が傾きかけた昔ながらの足袋製造会社が足袋をモチーフにした『薄底』ランニングシューズを開発し、怪我から復帰した選手と共に再起を図るといった感動の物語なのですが、残念ながら最近のランニング業界ではこの『薄底』シューズではなく、『厚底』シューズが話題になっています。

事の発端はアメリカのNIKE社が莫大な開発費用と研究時間を費やして今までの既成概念を覆す『厚底』シューズを開発・発売し、そのシューズを使用した選手達が世界の主要なマラソン大会で上位を独占したことから始まります。

今までの常識では『厚底』シューズはクッション性能に優れ脚は守ってくれるもののスピードを出しにくいジョギングのようなスローペース用、一方『薄底』シューズは力がダイレクトに地面に伝わるためスピードを出しやすい反面、クッション性能は劣るため履きこなすにはある一定の脚力を持った上級者に限られてしまうのが現状でした。そこでNIKE社はこの「クッション性能」と「スピード性能」を両立できないかと研究を重ね、何と厚底ソールの内部に軽量で硬度の高いカーボン製のプレートを入れ込むことでこれを可能にしたのです。NIKEは本気でこのシューズで人類初のフルマラソン2時間切り [サブ2] を目指しており、いろいろな条件を揃えて試験的に行った非公認のフルマラソンで2時間00分25秒という記録も打ち出しています。そのため巷では、このシューズはドーピングシューズではないか? と囁かれています。

私も趣味でマラソンをしており、かなりのシューズフェチですので、早速この「ドーピングシューズ」を購入しました。まず驚いたのはシューズのソールでした。ご存じの通り通常ランニングシューズのソールは力を加えると屈曲し、くの字に曲がりますが、このシューズは「カーボンプレート」が入っているためソールはどんなに力を加えても殆ど屈曲せず、板のように固くなっています。そのため地面に対して足底がまるで振り子のようにローリングし、足が自然に前へ前へと押し出され、まるで背中を押されながら走っているような半端ない推進力を実感します。例えると、まるで坂道を下っているような感覚でしょうか。また、普段と同じペースで走っているつもりでもkm当たり10~20秒速いペースであったり、十分なクッション性能の恩恵がどうか分かりませんが心拍数が普段より抑えられていることも意外な発見でした。

と、ここまでまるで魔法のようなシューズ! ということになりますが、実際にフルマラソンで使用してみると新たな問題もありました。一つは普段のペースで走っているつもりでも自然にかなりのハイペースとなってしまうために35km過ぎの筋肉

疲労が顕著でした。特に下り坂では自然に加速してしまう傾向が強く、下り坂の後は痙攣もありイーブンペースを保つのが厳しくなり最後は若干ペースダウンしてしまいました。トータルでは一応目標のタイムは達成できましたが、かなり「癖の強い」シューズであると実感しました。

一方、十分なクッション性能の恩恵により脚にかかる負担は今までのどのシューズよりも少なく、脚には非常に優しいシューズであることも実感しました。

今年の正月の箱根駅伝で往路優勝した東洋大学の選手の殆どがこの『厚底』シューズを使用していた一方で、総合優勝した青山学院は『薄底』シューズの選手が主流でした。マラソンと駅伝では走行距離が違うため一概に比較はできませんが、この『薄底』vs『厚底』シューズの争いは今後も目が離せません。今年は恐らくNIKEのライバル企業である「adidas」が『薄底』シューズで巻き返しを図ってくるはず。現在のマラソンの世界記録はこのadidas社のシューズで達成されていることもあり、これからもこの『薄底』vs『厚底』の争いと人類初のフルマラソン2時間切り [サブ2] へのチャレンジは続いていくことでしょう。

そして東京オリンピックまでには日本のメーカー「アシックス」「ミズノ」にも頑張ってもらいたいものです。「日本人選手が日本製のシューズを履いて優勝する」あの光景をもう一度目にしたいものです。

(玉医ニュース 平成30年2月号から抜粋)



2017 板橋 City マラソン

板橋区医師会

東京消防庁救急相談センター

#7119 電話接遇教養を実施しました

2月8日、#7119で勤務している通信員や看護師に対して「平成29年度救急相談センター電話接遇教養」を開催しました。

昨年に引き続き、フリーアナウンサーの毛利道子氏を講師に迎え「電話応対におけるコミュニケーション能力向上のために(上級編)」と題して、電話応対における応用力、機転力を向上するための研修を実施しました。

今回の講義は、昨年の復習を踏まえながら、電話の心得や傾聴する力、具体的なテクニックなど、電話応対の上級者となるためにさまざまな面から行いました。受講者からは「安心感を与えるため、相手の言葉を繰り返してみようと思いました」「最初の15秒で印象が変わるため、特に第一声は明るい声を心掛けたい」などの意見、感想がありました。

今後も通信員、看護師達は、このような研修を通して都民の皆様に安全・安心を提供する#7119になるように努めてまいります。また、さらに質の高い電話救急相談を目指しておりますので、皆様、#7119にさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年東京消防庁救急相談センター受付状況 (速報値)

[平成30年1月1日から3月31日まで]

	累計	前年件数	前年同時期増減 (増減比)	受付件数に 占める割合	前年同時 期	一日 あたりの 件数
総着信件数	107,345	97,786	9,559 (9.8%)			1,192.7
受付件数	101,189	91,256	9,933 (10.9%)	—	—	1,124.3
医療機関案内	51,184	51,331	-147 (-0.3%)	50.6%	56.2%	568.7
救急相談	49,801	39,738	10,063 (25.3%)	49.2%	43.5%	553.3
救急要請	8,739	7,526	1,213 (16.1%)	(※)17.5%	(※)18.9%	97.1
相談前救急要請	174	167	7 (4.2%)	0.2%	0.2%	1.9
かけ直し依頼	30	20	10 (50.0%)	0.0%	0.0%	0.3
その他(苦情)	0	0	0 (0.0%)	0.0%	0.0%	0.0

※救急相談件数に占める割合

看護師への医師助言	11,622	9,479	2,143 (22.6%)			129.1
通信員への医師助言	5,854	6,910	-1,056 (-15.3%)			65.0

無声拝聴

白い巨塔考

つい最近ネットサーフィンをして
いた際、動画サイトに白い巨塔(田
宮二郎版)がアップされており、気
付いたら全回見えてしまっていた。放
送当時の作品を一家全員で楽しん
でいて、また小学校2年生の弟が「財
前五郎、カッコいいな。僕もあーい
うお医者さんになるんだ」と言っ
て周囲を驚かせたことが今でも忘れ
られない。まだ年端もいかない弟が
言いたかったのは、今の日本の若者
が失ってしまったと言われる強い上昇
志向を持った大人になりたいという
ことだと最近気付いた。その弟は医
学会のような狭い世界では収まら
ず、生活基盤を海外に移して世界の
大空を飛び回るパイロットになった。
さて自分は彼とは逆で、その当時
は里見修二に強い憧れを抱いてい
た。恐らく財前の対局に座らせるこ
とで、作者が医師の理想像を彼に置
いたように思われる。しかし彼の生

き様が本当に良いのかという最近
は疑問が込み上げてくる。何故なら
ば彼は家族を犠牲にし、後進の医師
に自分の理想像を押し付けようとし
ているからである。そもそも医師も
里見の家族も人間であり機械ではな
い。そういう意味で横暴な反面、後
輩から慕われる財前の方が魅力的な
人物にすら思えるのである。
ところでこの作品を見て大変気にな
ることが一つある。それはタバコ
を吸っているシーンが異常に多いこ
とである。時代とはいえ医学部長も
教授も医局員も患者も愛人もアパ
カタバコを吸っており、40年前の作
品とはいえ今ではR指定されてもお
かしくないと思えるほど喫煙率が高
い。里見修二に会えるのであれば、
裁判で意地を通すよりも患者にタバ
コを吸わせないよう啓発する方が本
当の患者のためではないかと忠告す
ると思う。(山本純)

夏の食中毒

— 細菌性食中毒の変遷 —

夏は高温多湿な状況が続く細菌性の食中毒に注意
しなければならない季節である。平成29年に全国で
発生した細菌性の食中毒は449件であり、月別の発
生状況を見ると、9月が71件と最も多く、次いで8
月が63件と2番目に多かった。この結果からも夏に
細菌性の食中毒が多く発生していることがわかる。

しかし、その原因となる細菌は過去と現在では大
きく様変わりしている。20年前の平成9年の国の統
計をみると、細菌性の食中毒は1,630件発生しており、
腸炎ビブリオが第1位で568件、サルモネラ属菌が第
2位で521件、カンピロバクターが第3位で257件と
なっている。

一方、平成29年の統計では腸炎ビブリオは7件、
サルモネラ属菌は35件、カンピロバクターは320件
となっており、腸炎ビブリオとサルモネラ属菌によ
る食中毒が激減していることがわかる。

当時、腸炎ビブリオ食中毒は適切な温度管理がさ
れなかった魚介類の生食により多発していた。その
後、生食用鮮魚介類には10℃以下で保存しなければ
ならない基準等が作られ、減少したと言われている。

また、サルモネラ属菌食中毒は鶏卵の生食を原因
として多発していた。その後、鶏へのワクチン接種
や鶏卵の期限表示の義務化などが功を奏し、こちら
も減少したと言われている。

残りはカンピロバクター食中毒である。国の発表
では、平成29年に発生したカンピロバクター食中毒
の約9割の事例で、生または加熱不十分な鶏肉の関
与が疑われていることが報告されている。

都としても生または加熱不十分な鶏肉の提供や喫
食を控えるよう、飲食店への監視指導や都民への普
及啓発を実施している。ぜひ数年後には、カンピロ
バクター食中毒も激減した状況となってほしい。
(文責：稲見成之)

感
染
症
豆
知
識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

都医からのお知らせ INFORMATION

第435回 国際治療談話会例会 「厚生行政と科学技術」

問合先 (公財)日本国際医学協会事務局
世田谷区上馬1-15-3MK三軒茶屋ビル 3F
TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599
E-mail: admin@imsj.or.jp URL: http://www.imsj.or.jp/

日時▶ 7月19日(木) 18時~20時
会場▶ 学士会館2階 202号室(千代田区神田錦町3-28(駐車場無料) TEL 03-3292-5936)
開会挨拶▶ 石橋健一((公財)日本国際医学協会理事長) **司会**▶ 村上貴久((公財)日本国際医学協会理事)
(第1部)講演▶ ①「医療の構造改革 変わるの、今だっ!」鈴木康裕(厚生労働省 医務技監) ②「リキッドバイオブシー」落谷孝弘(国立がん研究センター 分子細胞治療研究分野 分野長)
(第2部)感想▶ 「これからの10年~品性を磨こう~」 嶋 信彦(ジャーナリスト)
会費▶ 会員5,000円、非会員6,000円、学生2,000円
取得単位▶ 日医生涯教育制度1単位取得予定(カリキュラムコード6、7)、(公財)日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度1単位

自賠責診療費算定基準(新基準)についてのアンケート調査結果

昭和31年より自賠責保険が実施され交通事故診療は自由診療での取扱いでしたが、医療機関ごとに格差が生じたため、平成元年に日本医師会で手挙げ方式による自賠責新基準が導入され、平成28年には47都道府県全てに浸透いたしました。これにより日本医師会では、現在制度化に向けた検討がなされており、先般、都道府県医師会宛にアンケート調査が実施されました。

東京都医師会ではこれを受け、一定条件の会員医療機関1,441件を対象にアンケート調査を実施し、441件の回答を得てその結果を日本医師会に報告いたしました。以下はアンケート集計結果となります。ご協力をいただきました会員の先生方におかれましては、この場を借りて深く御礼申し上げます。
(東京都医師会 労災・自賠責委員会 委員長 子田純夫)

【調査期間】 平成29年10月
【対象】 1,441件 ※有効回答数441件
東京都医師会員の病院、診療所を対象に、一定の条件(労災指定医療機関、外科、整形外科の標榜科目等)を基準に抽出した医療機関

日本医師会労災・自賠責委員会において「自賠責診療費算定基準の制度化に向けての骨子」を作成しております。骨子の以下5つの項目についてご意見をお聞かせください。

① 制度化にあたっては、労災にならい金融庁や国土交通省等の担当部署の通知等による運用としてはどうか。
賛成……340件 ■ 反対……75件 ■ 無記入……26件

② 制度化にあたり、交通事故診療は原則、新基準を第一優先の取扱いにする。ただしやむを得ず健保使用をする場合においては、下記の通りとしてはどうか。

- 加害者が判明しない場合(轢き逃げ、当て逃げ等)
- 無保険車両による場合
- 被害者の過失割合が大きい場合(7割までは全額補償)
- 自賠責保険の範囲での支払いを超えることが明らかな場合(任意保険未加入)
- 相手(加害者)の損害補償能力が低い場合

賛成……378件 ■ 反対……42件 ■ 無記入……21件

③ 120万円の限度額を超えた任意保険の適用に「過失相殺」が付きまとう現状を踏まえ、上限見直しや治療費未収のリスクについて検討する公の場を設けてはどうか。

賛成……410件 ■ 反対……11件 ■ 無記入……20件

④ 自賠責保険の運用については、審査支払業務を担う第三者機関を立ち上げてはどうか。

賛成……333件 ■ 反対……70件 ■ 無記入……38件

⑤ 「制度化」のタイミングで医業類似行為等について、施術期間の制限や施術費の支払制限等による適正化の検討を行ってはどうか。

賛成……362件 ■ 反対……46件 ■ 無記入……33件

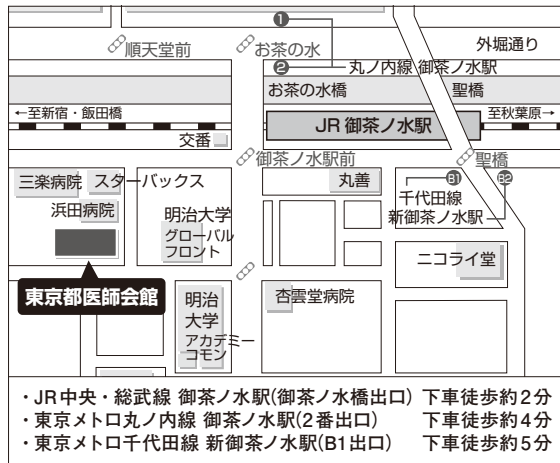
日本医師会生涯教育講座

日時 平成30年7月19日(木)
午後2時～5時

場所 東京都医師会館 2階講堂

(千代田区神田駿河台2-5)
TEL:03-3294-8821(代表)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位
カリキュラムコード 7、11、43、73
日本内科学会認定総合内科専門医更新単位 2単位



心房細動の薬物治療と カテーテルアブレーション

座長 東京都医師会理事

落合和彦

日本大学医学部内科学系
循環器内科学分野主任教授

奥村恭男先生

東京慈恵会医科大学内科学講座
循環器内科教授

山根禎一先生

共催 東京都医師会
日本ベーリンガーインゲルハイム 株式会社

心房細動における薬物治療

奥村恭男先生

超高齢社会に伴い心房細動患者は増加の一途をたどり、一般的に遭遇する common disease として、その管理はますます重要なものとなっている。心房細動の治療は、現在、脳塞栓症予防の抗凝固療法が主体に行われているが、DOACが登場したことにより進歩している。従来のワルファリンと比べて、ランダム化比較試験で同等以上の安全性、有効性が報告され、リアルワールドデータにおいても

そのエビデンスが構築されつつある。また、カテーテルアブレーションの進歩により、従来から行われていた抗不整脈薬による洞調律維持を目的とするリズムコントロールや心拍調整を行うレートコントロールの位置付けも近年変わりつつある。本講演では、これらのエビデンスから得られた知見を基に日常診療における最適な心房細動治療について考察する。

心房細動に対するカテーテルアブレーション：根治的治療を行う意味を考える

山根禎一先生

心房細動は、虚血性心疾患とは異なり直ちに命に関わらないことからしばしば良性疾患に分類される。脳梗塞さえ起こさなければそのまま様子を見ていけば良いという対応が昔から行われてきたが、近年心房細動に対する考え方は大きく変化してきている。21世紀の到来とともにカテーテルを用いて内科的に心房細動の根治療を行うことが可能となり、治療した患者の予後が薬物治療の患者よりも

有意に良好であることが明らかになりつつある。また心房細動は進行性疾患であるが故に、早期発見と治療の重要性も指摘されている。加齢が原因とされる心房細動は、今後の超高齢社会において国民の健康寿命に大きく関わる問題であり、根治を目指す心房細動管理の重要性をご理解いただき、患者の治療に役立てていただきたい。

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医^{ニュース}NEWS

2018

Vol.
628

地区医師会長からの一言

慶應医師会の活動と今後の課題

慶應医師会長 小川 郁



2017年から鈴木則宏前会長の後任として慶應医師会長を仰せつかっております小川郁です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、慶應医師会は1952年5月に設立されましたので、今年で66周年を迎えることになり、全国大学医学部・医科大学の医師会として最も歴史ある医師会の一つです。慶應医師会は慶應義塾大学医学部に在籍、または在籍歴のある医師など、慶應義塾大学医学部関係の医師によって組織されています。会員数は約700名でやや増加傾向にありますが、本年度からの東京都医師国民健康保険組合の保険料改定が会員数に影響するのではないかと若干危惧しています。慶應医師会活動を活性化するためには会員数の増加が不可欠ですので、慶應医師会の活動や入会のメリットをこれまで以上に周知していきたいと思っています。

慶應医師会は医道の高揚ならびに医学・医術の発展普及を促進し、あわせて公衆衛生の向上を図ることによって、社会福祉に寄与することを目的として、さまざまな事業を展開してきました。また、2012年4月から一般法人化して活動の充実を図っています。慶應医師会の大きな事業は市民公開講座、産業医研修会の開催、医学研究助成、慶應義塾大学医学部国際交流委員会活動助成、慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナーの共催などです。市民公開講座は1993年から年に1~2回開催しており、今年10月開催予定の市民公開講座が第30回ということになります。昨年は「いつまでも健康で動ける体を保とうー一口コモティブシンドロームー」と題して開催し、約300名に参加していただきました。産業医研

修会は2年に1回開催してきましたが、開催要請も多いことから毎年の開催を検討しています。また、生涯教育研修セミナーは医学部三四会、慶應医学会との共催ですが、年3回開催しており、今年6月には第115回生涯教育研修セミナー「がんゲノム医療の夜明け前」を開催しました。医学研究助成は慶應義塾大学医学部に在籍で35歳以下の若手研究者10名に研究助成金を交付しています。医学部国際交流委員会は医学生の実験活動を支援していますが、短期海外留学プログラムでは毎年30名以上の学生が海外の医学部で研修を行っています。また、学生の課外活動では南米への派遣を行う国際医学研究会、日韓医学生学術交流会、日中医学生交流協会、アフリカ医療研究会、ラオス医療研修など多岐にわたり活発に活動していますが、慶應医師会もこれらの活動を積極的に支援しています。

さて、わが国の高齢化は世界に類を見ない早さで進み、高齢者の急激な増加と少子化による生産年齢人口の減少が大きな問題となっています。また、医師の地域偏在や診療科偏在、昨年スタートした新専門医制度など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。さらには医学部、大学病院にも働き方改革の波が押し寄せており、当直業務などを含めて医師の長時間労働の是正が求められています。大学医師会という目線でこれらの医療環境の変化にどのように対応していくべきか検討したいと思っています。東京都医師会の皆さまには一層のご指導、ご協力をお願いして、慶應医師会からの一言とさせていただきます。